

本庄市まち・ひと・しごと創生ワークショップについて

次期本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、市民の皆様の意見を反映することを目的として、令和元年8月31日（土）及び9月7日（土）に「本庄市まち・ひと・しごと創生ワークショップ」を開催しました。

【第1回】8月31日（土）

1. 第1回ワークショップの概要

第1回ワークショップでは、以下の3つのテーマ別に、それぞれのテーマごとに、本庄市の「強み」と「弱み」の洗い出しを行いました。

（3つの検討テーマ）

グループA：企業（事業者）を市内に呼び込む

グループB：若い世代の定住を促進し、市内の子どもの数を増やす

グループC：まちの魅力を高める

（主 題）

第1回

本庄市の強みと弱みについての洗い出し



2. 各グループより抽出された本庄市の「強み」と「弱み」

参加者より多くの意見が出されたものの中から、検討テーマごとの本庄市の「強み」と「弱み」を、グループ意見としてそれぞれ2～3つにまとめ、グループ毎に発表を行いました。各グループでの主な意見は、以下の通りです。

【検討テーマ】グループA：企業（事業者）を市内に呼び込む	
（強み）※意見抽出	（弱み）※意見抽出
<ul style="list-style-type: none"> • 都内まで50分 • 本庄児玉ICがある • 新幹線の駅がある • 本庄駅（JRの駅）がある • 駅前に駐車場が多い • 水が安い • 様々な農畜産物が生産されている • 農業用地が安い • 遊休農地の拡大・集約 • 消費地に近い • 空き店舗が多い • 群馬県より平均賃金が高い • 災害が少ない • 自然が豊か、住みやすい • 高校が多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 本庄早稲田駅周辺の開発が進んでいない • 新幹線駅周辺での企業誘致が進んでいない • 大きなモールがない • 整備された工業用地がない、少ない • 働きたいと思ういい企業がない • 自然を利用した商業施設がない • 戦略がない（マーケティングとターゲット） • 若者に魅力的な企業が少ない • メーカーを主とした下請け業者等の関係企業が少ない • 地域内における売場が少ない • 農業分野における雇用の確保が進まない • 就農者の高齢化、減少 • 駅から工業団地（共栄）への交通インフラ（バス等）がなく不便 • 新幹線と在来線の駅間が離れている • 特区がない • 市街地調整区域が多い • 農地転用の課題がある • 県立公園がない • 子どもが遊べる室内施設が少ない

グループAが導いた「企業（事業者）を市内に呼び込む」ための
『強み』と『弱み』

【検討テーマ】グループA：企業（事業者）を市内に呼び込む	
（強み）※意見集約（グループ発表）	（弱み）※意見集約（グループ発表）
<ul style="list-style-type: none"> ① 立地が良い ② 農業に取り組みやすい ③ 生活環境が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ① 働く場所が少ない ② 工業用地への転用に課題がある ③ 工業団地へのアクセスが悪い

【検討テーマ】グループB：若い世代の定住を促進し、市内の子どもの数を増やす	
(強み) ※意見抽出	(弱み) ※意見抽出
<ul style="list-style-type: none"> • 夏祭りなど伝統行事が体験できる • 土地が安い • 3世代同居がしやすい • フレッシュな農産物が手に入る、安価 • 自然が豊か • 交通が便利 • 行政との距離が近い、市長と話ができる • 保育施設が多い • 新しい幼児教育の領域の拡大 • 幼稚園バスが来てくれる • 幼児教育・保育（子育て支援）の充実 • 児童教育・保育が熱心 • ファミリーサポートセンターがある • 頑張っている施策も結構ある • シルクドームがある • 婚活イベントの充実 	<ul style="list-style-type: none"> • NPO 活動への理解と協力がすすんでいない • 同じ世代の交流ができる場所が少ない • 子育て情報が希薄、手に入れにくい • 子育て相談の窓口が少ない • 子育て相談後のケアが不十分 • 子育てメニューの情報が分かりにくい • 市政として学業への投資が少ない • 療育支援が不十分 • 子育て支援への具体策や財政支援が乏しい • 保育施設は多くあるが希望する施設へ入れない • 他市町からの保育施設への受け入れ • 若い世帯への住宅補助（がない、少ない） • 商業施設と住居が遠い • 大きな商業施設がない • 映画館がない • 公園が少ない • 雨の日に遊べる場所が少ない • 車がないと生活できない • 図書館の開館時間が短い • これだ！という産業がない • 小児科等の医療施設が少ない • 産業医が充実していない

グループBが導いた「若い世代の定住を促進し、市内の子どもの数を増やす」ための『強み』と『弱み』

【検討テーマ】グループB：若い世代の定住を促進し、市内の子どもの数を増やす	
(強み) ※意見集約（グループ発表）	(弱み) ※意見集約（グループ発表）
<ul style="list-style-type: none"> ① 住む環境が良い （自然、交通の便等） ② 幼児教育・保育の充実 （各種団体での取組） 	<ul style="list-style-type: none"> ① 子育てに関する情報が得にくい ② 子どもに関する医療機関が少ない （療育の為にサポート体制） ③ 子どものための施設が少ない （公園、屋内の遊び場等）

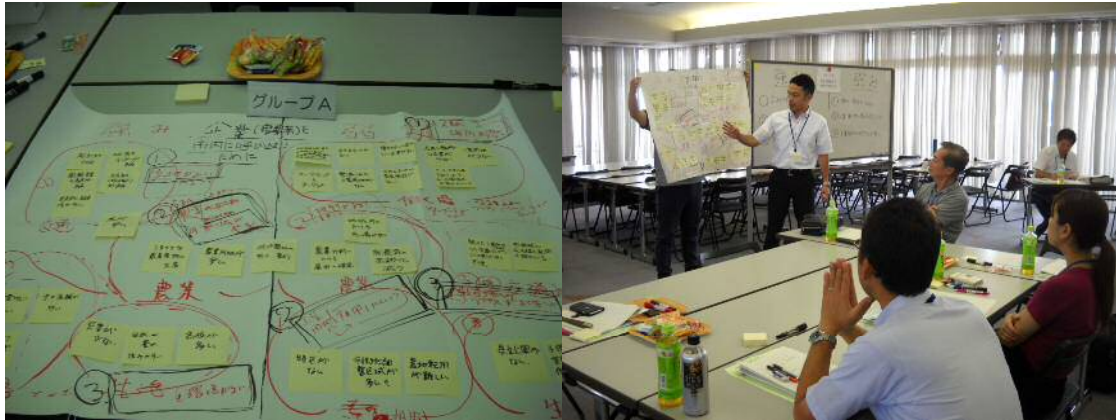
【検討テーマ】グループC：まちの魅力を高める	
(強み) ※意見抽出	(弱み) ※意見抽出
<ul style="list-style-type: none"> ・通勤が便利 ・交通インフラに恵まれている ・土地がある ・水道料金が安い ・地価が安い ・災害、天災が少ない ・スケートボードで遊ぶ場がある ・祭りがあり、祭りがさかん ・農業がさかん、野菜がおいしい ・ウォーキングマップがある ・公園が多い ・自然が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の交通利便性が良くない、道路が狭い ・固定資産税が高い ・駐車場が高い ・若い人の遊ぶ場所が少ない ・中心市街地が弱っている ・行政のリーダーシップが足りない ・まち創生のアイデアが少ない ・村社会の強さ（支え合う） ・転入者同士の支え合いが弱い ・外部の視点から学ぶ姿勢が弱い ・発信力が弱い ・公園、公衆トイレが少ない ・特徴がない ・ウォーキングマップのアピールが弱い

グループCが導いた「まちの魅力を高める」ための『強み』と『弱み』

【検討テーマ】グループC：まちの魅力を高める	
(強み) ※意見集約（グループ発表）	(弱み) ※意見集約(グループ発表)
<ul style="list-style-type: none"> ① 交通インフラに恵まれている ② 自然が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ① 情報発信が弱い ② 公共のトイレが少ない ③ 道路が狭い

「強み」「弱み」の洗い出しとグループ発表の様子

－（グループA）－



－（グループB）－



－（グループC）－



3. 第1回ワークショップのまとめ

第1回ワークショップでは、各検討テーマにおける「強み」と「弱み」をそれぞれ2～3つずつに集約し、グループ毎に発表を行いました。また、その「強み」を伸ばし、「弱み」を克服するためのアイデア案をまとめました。

【グループA】 企業（事業者）を市内に呼び込む

- ① 本市の立地を生かした企業（事業者）を呼び込むための具体的なアイデア
- ② 就農者を増やすための具体的なアイデア
- ③ 働く場所を増やすための具体的なアイデア

【グループB】 若い世代の定住を促進し、市内の子どもの数を増やす

- ① 自然・交通を活かした定住促進のための具体的なアイデア
- ② 幼児教育・保育をさらに促進するための具体的なアイデア
（子育て情報の取得方策含む）
- ③ 療育のためのサポート体制の確立にむけた具体的なアイデア

【グループC】 まちの魅力を高める

- ① 自然・交通をキーワードとしたまちの魅力向上にむけた具体的なアイデア
- ② まちの情報発信を高めるための具体的なアイデア

【第2回】9月7日(土)

1. 第2回ワークショップの概要

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップで抽出した、検討テーマごとの本庄市の「強み」と「弱み」に対し、「強み」を伸ばし、「弱み」を克服するための具体的なアイデアについて、グループ毎に話し合いを行ったうえで、発表を行いました。

グループAが導いた本庄市の「強み」と「弱み」

【検討テーマ】 グループA：企業（事業者）を市内に呼び込む	
（強み）	（弱み）
① 立地が良い	① 働く場所が少ない
② 農業に取り組みやすい	② 工業用地への転用に課題がある
③ 生活環境が良い	③ 工業団地へのアクセスが悪い

第2回ワークショップにおけるグループAの検討テーマ

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 本市の立地を生かした企業（事業者）を呼び込むための具体的なアイデア ② 就農者を増やすための具体的なアイデア ③ 働く場所を増やすための具体的なアイデア |
|--|

グループBが導いた本庄市の「強み」と「弱み」

【検討テーマ】 グループB：若い世代の定住を促進し、市内の子どもの数を増やす	
（強み）	（弱み）
① 住む環境が良い （自然、交通の便等）	① 子育てに関する情報が得にくい
② 幼児教育 （各種団体での取組）	② 子どもに関する医療機関が少ない （療育の為のサポート体制）
	③ 子どものための施設が少ない （公園、屋内の遊び場等）

第2回ワークショップにおけるグループBの検討テーマ

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 自然・交通を活かした定住促進のための具体的なアイデア ② 幼児教育をさらに促進するための具体的なアイデア
（子育て情報の取得方策含む） ③ 療育のためのサポート体制の確立にむけた具体的なアイデア |
|---|

グループCが導いた本庄市の「強み」と「弱み」

【検討テーマ】 グループC：まちの魅力を高める	
(強み) ※意見集約(グループ発表)	(弱み) ※意見集約(グループ発表)
① 交通インフラに恵まれている ② 自然が多い	① 情報発信が弱い ② 公共のトイレが少ない ③ 道路が狭い

第2回ワークショップにおけるグループCの検討テーマ

① 自然・交通をキーワードとしたまちの魅力向上にむけた具体的なアイデア ② まちの情報発信を高めるための具体的なアイデア

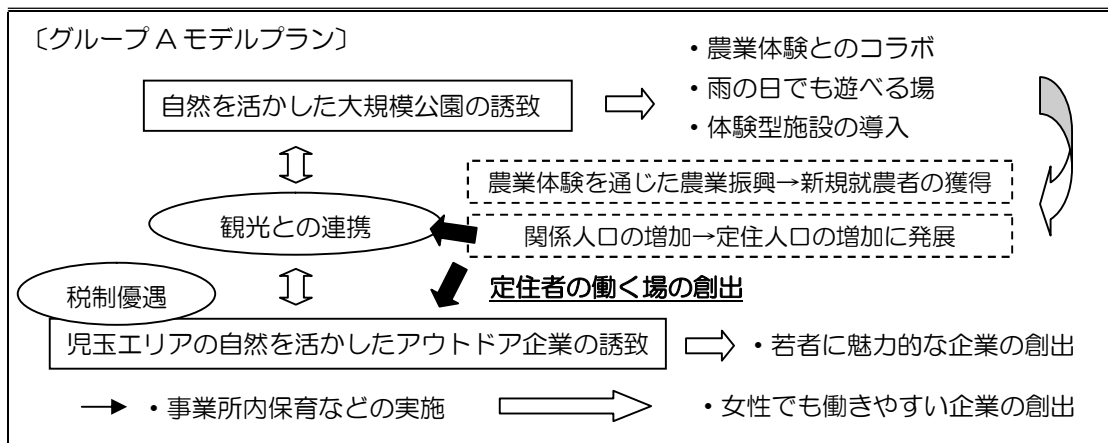
ー第2回ワークショップの様子ー



2. 各グループより抽出された「強み」を伸ばし「弱み」を克服するためのアイデア

第1回ワークショップに続き、第2回ワークショップにおいても、参加者より多くの意見が出されました。各グループでの主な意見は、以下の通りです。

【検討テーマ】 グループA：企業（事業者）を市内に呼び込む
<p>①本市の立地を生かした企業（事業者）を呼び込むための具体的なアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児玉エリアの自然を活かしたアウトドア企業の誘致（観光産業の振興） ・ 工場に適した用地の確保、用途地域や農地転用の課題 ・ 周辺自治体との差別化の分析、県との連携（要望・意見交換を行う仕組みづくりの構築） ・ ニーズに応じた金融支援の実施、固定資産税の優遇 ・ 金融機関との連携（企業誘致などにおける情報交換等）
<p>②就農者を増やすための具体的なアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の整備（大規模化など） ・ 農業機械（大型化・自動化など）の導入支援 ・ 農産物のブランド化（“これ！”というものをつくる） ・ 地産地消できる施設との連携促進 ・ シルバー人材と若い世代の連携による農業振興（朝の作業：シルバー世代、日中の作業：若い世代など） ・ 道の駅の整備、連携 ・ 後継者づくり（婚活などによる人材確保、農業の拡大や小規模ブランド化による収入の確保） ・ 農業法人設立への優遇(市の支援) ※個人事業主として農業ができない若者等への支援 ・ 新規就農者向けの使いやすい補助金制度の導入
<p>③働く場所を増やすための具体的なアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家を活用したシェアオフィスの開設 ・ 他地域から人を呼び込む、または戻ってきたくなる環境づくり（人を増やす） <ul style="list-style-type: none"> → 交通利便性を高めるための道路整備の推進 → 住みよい地域環境 → 本庄市の地域特性を活かした大規模公園の整備 ・ 若者の働くニーズの把握、若者に魅力的な企業の誘致 ・ 保育施設の充実、女性のための優遇制度の導入



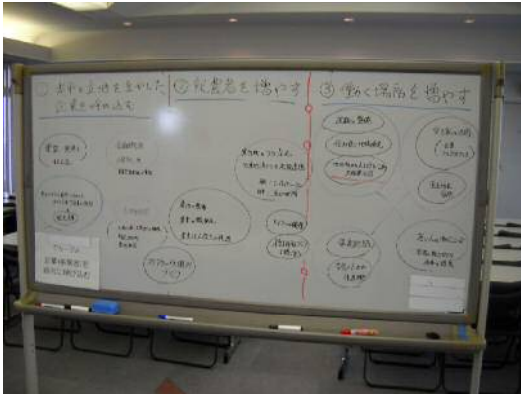
<p>【検討テーマ】</p> <p>グループB：若い世代の定住を促進し、市内の子どもの数を増やす</p>
<p>①自然・交通を活かした定住促進のための具体的なアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスの充実 ・新幹線～JR駅間へのアクセスの改善（バスの増便、レンタサイクルの導入、地下鉄整備など） ・地元農家と連携した親子農業体験の実施、農業体験を通じた食育の推進 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> → 空き家の活用 → 統一感のあるまちづくりの推進
<p>② 幼児教育をさらに促進するための具体的なアイデア（子育て情報の取得方策含む）</p>
<p>③ 療育のためのサポート体制の確立にむけた具体的なアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を入手しやすくする（ガイドなどの配布時期） ・周辺市町村との比較の中での行政サービスの確保 ・保育園・幼稚園の給食費の無償化 ・子育てや療育について気軽に相談できる相談窓口を増やす ・保健センターなどの市内の公的施設を活用した遊びの場や相談窓口の創出 ・親子ボール投げ教室の普及・拡大 ・産婦人科の誘致 ・学童保育の充実（学童保育小学6年生まで、空き教室を利用した学童保育の充実） ・ボランティアや有資格者が協力しやすい仕組みづくりの構築（例：ボランティア券の発行など）

【検討テーマ】 グループC：まちの魅力を高める
①自然・交通をキーワードとしたまちの魅力向上にむけた具体的なアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・まちのPRを推進する（農業が盛んなまち、災害が少ないまち、本庄祭りの都内でのPR） ・農産物の加工販売を推進する ・本庄ネギブランドのPR ・農業生産者の意識を高めるための活動を推進する ・早稲田大学の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> → 早稲田大学の研究を農業に使う → 大学との協議・連携によるまちの魅力向上にむけたプロジェクト事業を創設・推進 → 大学の空いた建物の有効活用 ・他都市（高崎市等）の事例を参考とした本庄早稲田駅に降りてもらうための仕組みづくり ・ロックコープス（音楽を通じた社会貢献プロジェクト）の開催を誘致し、人を呼び込みPRする ・農業体験できる仕組み（ボランティアの声かけなど）づくりを構築し、人を呼び込みPRする
②まちの情報発信を高めるための具体的なアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・本庄市で体験したことをSNSで発信してくれる仕組みづくりを構築する <ul style="list-style-type: none"> → ユーチューバーを本庄に呼び込む → 県実施の「ゆるっと癒しのまち巡り」と同様に、SNSでの拡散者に対するインセンティブを検討 ・市内の色々なマップ（ウォーキングマップ、路地マップ、桜の花マップ等）をSNSで発信

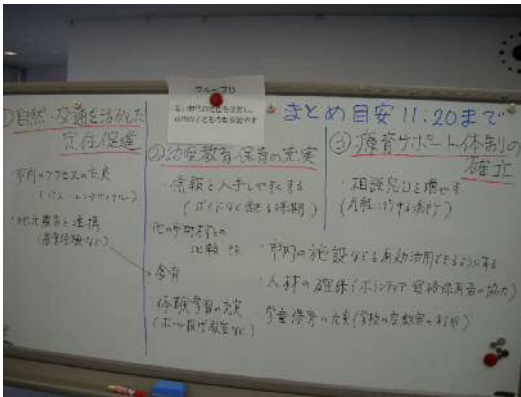
3. 第2回ワークショップのまとめ

第2回ワークショップでは、第1回の内容を踏まえて、本市の強みを伸ばし、弱みを克服するための具体的なアイデアについて、グループ毎に発表を行いました。

—各グループから出されたアイデアの様子（グループA）—



—各グループから出されたアイデアの様子（グループB）—



—各グループから出されたアイデアの様子（グループC）—

